

**問** 高齢者の健康維持・促進を図る対策は

具体例として、「グラウンド・ゴルフ競技」について問う。埼玉県は、グラウンド・ゴルフ競技者人口が、全国2位であり、当市でも多数の高齢者が日々この競技に参加している。そこで、①常設型の専用コートを設置する計画はあるか。②今後の対応はどうか。

**答** 建設計画はないが状況に応じて検討する

現在のところ、グラウンド・ゴルフ専用コートの具体的な建設計画はない。今後、高齢者人口の増加にともない、競技人口が増え、グラウンド・ゴルフ場が不足して、十分に競技が行えない状況が生じた場合には、グラウンド・ゴルフ場の整備を検討していく。



加藤一生 議員  
(清明会)



蓋掛けされていない水路

**問** 通学路等の車歩道分離化の推進状況は

具体例として、「白岡第一ノ二号幹線（マミーマート裏側～東北道の側道の市道側の下水道）」の歩道化事業はどのような計画で行われるのか。道路を挟んで反対側（車道側）のU字溝の蓋掛け計画はあるのか。本年度はどこまで実行するのか。完成はいつか。

**答** 歩行者の安全を最優先に事業を進める

白岡第一ノ二号幹線水路を有効活用し、歩道化を進める。今年度は調査設計業務委託を実施中であり、U字溝については蓋掛けの必要性なども含め検討する。工事は翌年度以降実施する予定であるが、複数年かかる見込みのため、完成時期は未定である。

**問** 食育の取組は

6月は食育月間である。子どもから高齢者まで、健全な食生活を実践するための食育を広げていく必要がある。市としての取組と、社会的関心事の食品ロスを食育に今後どのように生かしていくのか。また、スローガン入りの啓発品などを作成してはどうか。

**答** 健康な食生活の啓発などに努めていく

食育に関する市の取組として、健康な食生活の啓発、共食の大切さについての周知、地産地消や食の大切さの理解促進などに取り組んでいる。また、食品ロスの削減については、国や県の動向を注視し、事業者、消費者など、関係機関と協力・連携してまいりたい。



中山廣子 議員  
(公明党)

**問** 英語検定の検定料の助成を

文部科学省では、中学校卒業時の英語力として、英語検定3級程度以上を目標としている。その目標達成と学習意欲を高めるために、また経済的な理由で、受検を諦めなければならない生徒をつくらなため、英語検定の検定料を助成できるようにしてはどうか。

**答** 近隣市町の実施状況を調査・研究していく

市では現在、外部機関が実施する資格試験の検定料の助成は行っていない。来年度から小学校で外国語が教科となることなどから、外国語教育や英語検定への関心は高まっており、今後は国や県の動向を注視しながら、近隣市町の実施状況を調査・研究していく。

